

利用促進に向けた事業を決定

秋田内陸地域公共交通連携協議会総会

平成28年度秋田内陸地域公共交通連携協議会（会長・津谷市長）の総会が、7月5日に阿仁山村開発センターで行われ、内陸線をはじめとした公共交通の利用促進に向け意見を交わしました。

協議会は、秋田内陸線の存続に向け、内陸地域の公共交通のあり方を探るため、公共交通総合連携計画を策定し、それを実行していくことを目的に設立されています。

開会にあたり、津谷市長は「昨年の内陸線は、本協議会の様々な取り組みや会社一丸となった経営努力の



▲地域と連携した誘客促進事業などを決定した、内陸地域公共交通連携協議会総会

ほか、秋田県や仙北市、北秋田市による地方創生交付金事業が行われ、目標の経常損失2億円以内を達成することができた。沿線住民への意識調査の結果を分析しながら安定経営に向けた取り組みを期待している。この秋田内陸地域に多くの観光客が訪れ、満足いただける地域づくりのため、活発な意見をお願いしたい」などあいさつ。

このあと、事務局から27年度の事業と決算の報告、28年度の事業計画と予算が提案されました。

28年度の事業計画では、内陸線を活用した観光客の誘致促進事業として、今年度オープンした伊勢堂岱遺跡との連携や列車シートの破損箇所等に「ないりつくん」や「しゅうべえ」のワッペンを貼るなどのイメージアップ事業、秋田内陸ナビによる情報提供などが予定されています。

委員からは「高齢により自動車免許を返納する人も多く、内陸線やバスの案内を充実させる必要がある。誰でも一目で分かるような、市内の公共交通をわかりやすく示した地図を作成してみようか」などの提言もありました。

「からめ節」から阿仁鉱山を学ぶ

秋田大学「地(知)の拠点整備事業」ミニフォーラム

秋田大学「地(知)の拠点整備事業」ミニフォーラム2016 in北秋田が、7月13日に阿仁ふるさと文化センターで行われ、参加者は地域の文化を学ばせた阿仁鉱山を学びました。

秋田大学「地(知)の拠点整備事業」は、秋田大学と秋田県、事業企画市（北秋田市・横手市・潟上市）の3者が、地域から提案された超高齢社会を見据えた課題について、地域住民と協働で解決に向けた取り組みを進めることを目的としています。

開会にあたり、虻川広見副市長が「阿仁のいしへの文化を新たな視



▲学術的な調査の結果を地域に還元した、秋田大学ミニフォーラム

点で見て、現代に活用してもらいたい。今後も大学と地域住民、市が連携し、地域の活性化に向け団結して進んでいきたい」などあいさつ。

このあと、濱田純・秋田大学北秋田分校長が「これまで阿仁伝承館と異人館を活用した観光を進めてきた。大学では文化を発掘し、学術的な調査の結果を地域に還元して観光に役立てるため、これまで4回の特別展を開催しており、市や県はこれを反映させた政策に取り組み、地域の方々は地域住民がガイドを務める着地型観光の基礎づくりを図ってきた」などと事業内容を報告しました。

つづいて、秋田大学国際資源学専攻の今井忠男教授が「『からめ節』で読み解く阿仁鉱山の絵巻・絵図」と題して講演。はじめに阿仁鉱山の労働歌である『からめ節』の語源について触れ、鉱山で選鉱作業をする人たちを「砕女かまめ」などと呼び「かなめ」が転じて「からめ」になったのではないかと説明。このあと「デジタルギャラリー」を使い、阿仁鉱山の絵巻・絵図と、からめ節の歌詞を照らし合わせながら、当時の阿仁鉱山での作業の様子を解説しました。

地方創生の推進に向け連携

秋田銀行と「地方創生プロジェクト推進連携協定」を締結

北秋田市と秋田銀行との「地方創生プロジェクト推進連携協定」の締結式が、6月30日に市役所本庁舎で行われ、地方創生のさらなる推進に向け、連携協定を締結しました。

この度の協定締結は「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の理念を共有し、協力しながら地域活性化に向けて具体的に取り組むことを目的としています。

協定の内容は、市の中心市街地賑わい創生事業や地域特産品などのPR事業、まるごと森吉山観光振興プロジェクト事業、生涯学習の充実と



▲金融機能やネットワークを活用した地方創生実現のため連携協定を締結

地域活性化など、地方創生実現のため必要な事業について、秋田銀行の「FAN KITA」やインターネット支店「あきぎんこまち支店」などの金融機能やネットワークを活用し、目的達成のため連携協力するとしています。

締結式では、津谷市長と秋田銀行の湊屋隆夫・取締役頭取が、互いに協定書に署名して協定を締結し、握手を交わしました。

このあと、津谷市長が「秋田銀行との相互の連携により、市民生活に密着した北秋田版地方創生がより加速されることを期待している。今回の締結で、多方面にわたる後ろ盾をいただいたことに心強さを感じる。今後も連携を強化し、活力ある元気な北秋田市を継続するために協力を願いたい」などあいさつ。

続いて、湊屋取締役頭取は「起業、創業に限らず、商店街の地域おこしなどに全面的に協力したい。観光資源や食材、文化に至るまで北秋田市はポテンシャルが高い。本部、支店が一体となり、北秋田市の地方創生に力を尽くしたい」などあいさつしました。

市長ダイアリー

◇6月16日～7月15日

- 6月16日(木) ▽北秋田市議会6月定例会本会議初日(議事堂)
- 20日(月) ▽北秋田市議会6月定例会本会議一般質問①(議事堂)
- 21日(火) ▽北秋田市議会6月定例会本会議一般質問②(議事堂)
- 23日(木) ▽大館能代空港ターミナルビル株主総会(ホテル松鶴)
- 27日(月) ▽元森吉町長松橋久太郎氏叙位伝達式(本庁舎) ▽秋田地域医療対策協議会(秋田市)
- 28日(火) ▽北秋田市議会6月定例会本会議最終日(議事堂)
- 29日(水) ▽秋田内陸縦貫鉄道株式会社第32回定時株主総会(阿仁庁舎) ▽北秋田市地域づくりフォーラム(コムコム)
- 30日(木) ▽北秋田市行政評価委員会委嘱状交付(本庁舎) ▽北秋田市総合教育会議(コムコム) ▽北秋田市・秋田銀行「地方創生プロジェクト推進連携協定」締結式(本庁舎)
- 7月2日(土) ▽奥山芳壽氏瑞宝双光章受章祝賀会(ホテル松鶴)
- 3日(日) ▽マグワイア兄弟「浜辺の歌100周年記念ジャズコンサート」(文化会館)
- 4日(月) ▽定例記者会見(本庁舎) ▽北秋田市都市計画審議会委嘱状交付式・審議会(コムコム) ▽鷹巣南小学校全日本学校関係緑化コンクール受賞報告・全県自転車大会優勝報告(本庁舎)
- 5日(火) ▽秋田内陸地域公共交通連携協議会総会(阿仁山村開発センター) ▽森吉山スキー場管理運営協議会総会(北秋田地域振興局)
- 8日(金) ▽「ヒートポンプ・蓄熱月間」感謝状贈呈(本庁舎) ▽北秋田市日治道秋田北空港～二ツ井白神間建設促進期成同盟会総会(ホテル松鶴)
- 9日(土) ▽米代川花火大会開会セレモニー(米代川河川敷公園)
- 10日(日) ▽北秋田市消防訓練大会(台川農村環境改善センター) 駐車場 ▽成田金正氏「叙勲受賞祝賀会」(ホテル松鶴)
- 11日(月) ▽秋田県国有林野等所在市町村有志協議会(秋田市)
- 12日(火) ▽秋田県国民健康保険団体連合会理事会(秋田市)
- 13日(水) ▽第66回社会を明るくする運動北秋田市民集会(コムコム) ▽北秋田地域振興局と北秋田市との意見交換会(本庁舎)
- 15日(金) ▽秋田岩手広域観光推進協議会総会(岩手県雫石町)